

軽量の樹脂円板を併用した  
コンパクトタイプでありながら  
従来機と同等の脱水性能を発揮

動画



凝集混和タンク

凝集混和タンクでは汚泥に凝集剤を添加することで、凝集フロックが形成されます。凝集剤には、様々な汚泥の性状に合わせて2種類の高分子凝集剤を添加することができ、多様な汚泥性状に対応可能です。



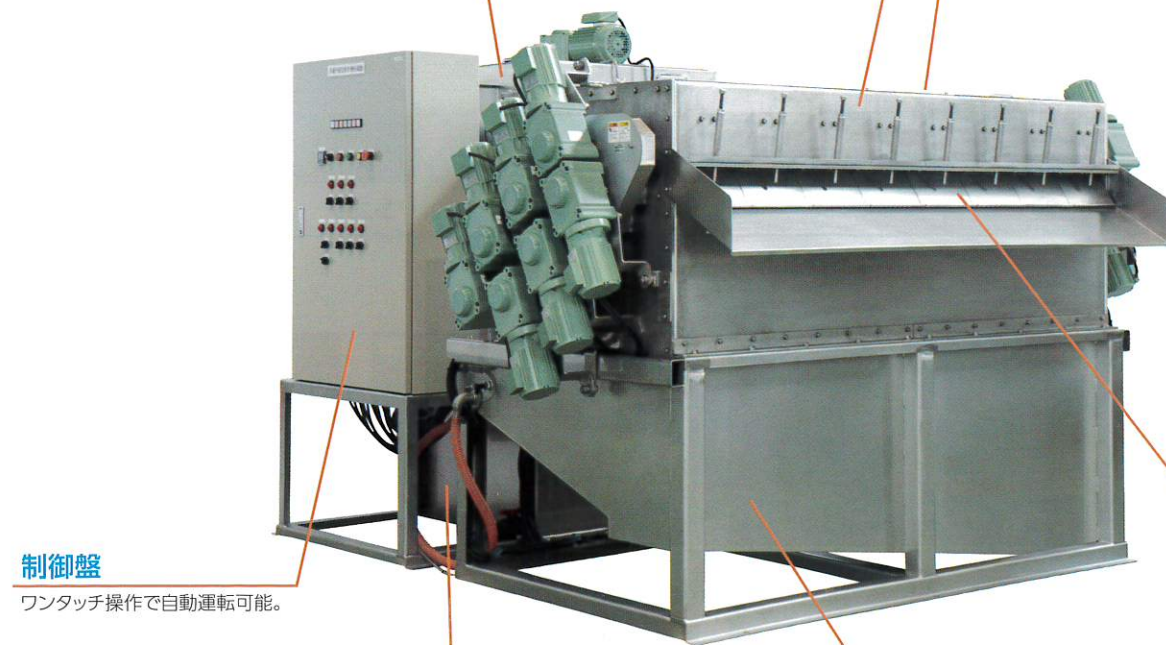
脱水機本体

閉塞のおそれが極めて少ない多重円板方式の脱水機本体で汚泥が脱水されます。



ろ体

各円板の間には、水分のみが流出するスリットが形成されており、隣接する「ろ体」の大円板が他方の「ろ体」に挿入される構造によってスリットは常にクリーニングされます。



制御盤

ワンタッチ操作で自動運転可能。

洗浄水タンク



ろ液受け洗浄用の水を貯留します。タンク内の水位が下がると、装置に内蔵されたボールタップにより、自動で給水されます。

ろ液受け



脱水機本体より分離されたろ液を集約し、機外に排出します。

脱水ケーキ排出



凝集汚泥が脱水機本体により分離され、脱水ケーキとして排出されます。

## クログレスJD型・JD型 フローシート

① 汚泥供給

汚泥槽から汚泥供給ポンプ（非付属）によって本体内の凝集混和タンクへ供給されます。

② 凝集剤添加・攪拌

凝集混和タンクで高分子凝集剤が添加され、攪拌羽根によって汚泥と均一に混ぜられます。

③ フロック形成・脱水機流入

高分子凝集剤が添加された汚泥は凝集フロックを形成、脱水に適した凝集汚泥になり凝集混和タンクから越流して脱水機本体へ流入します。

④ 脱水

脱水機本体に流入した凝集汚泥は、「ろ体」の回転により排出側に進み、その過程で容積圧縮されながら効率よく脱水されます。

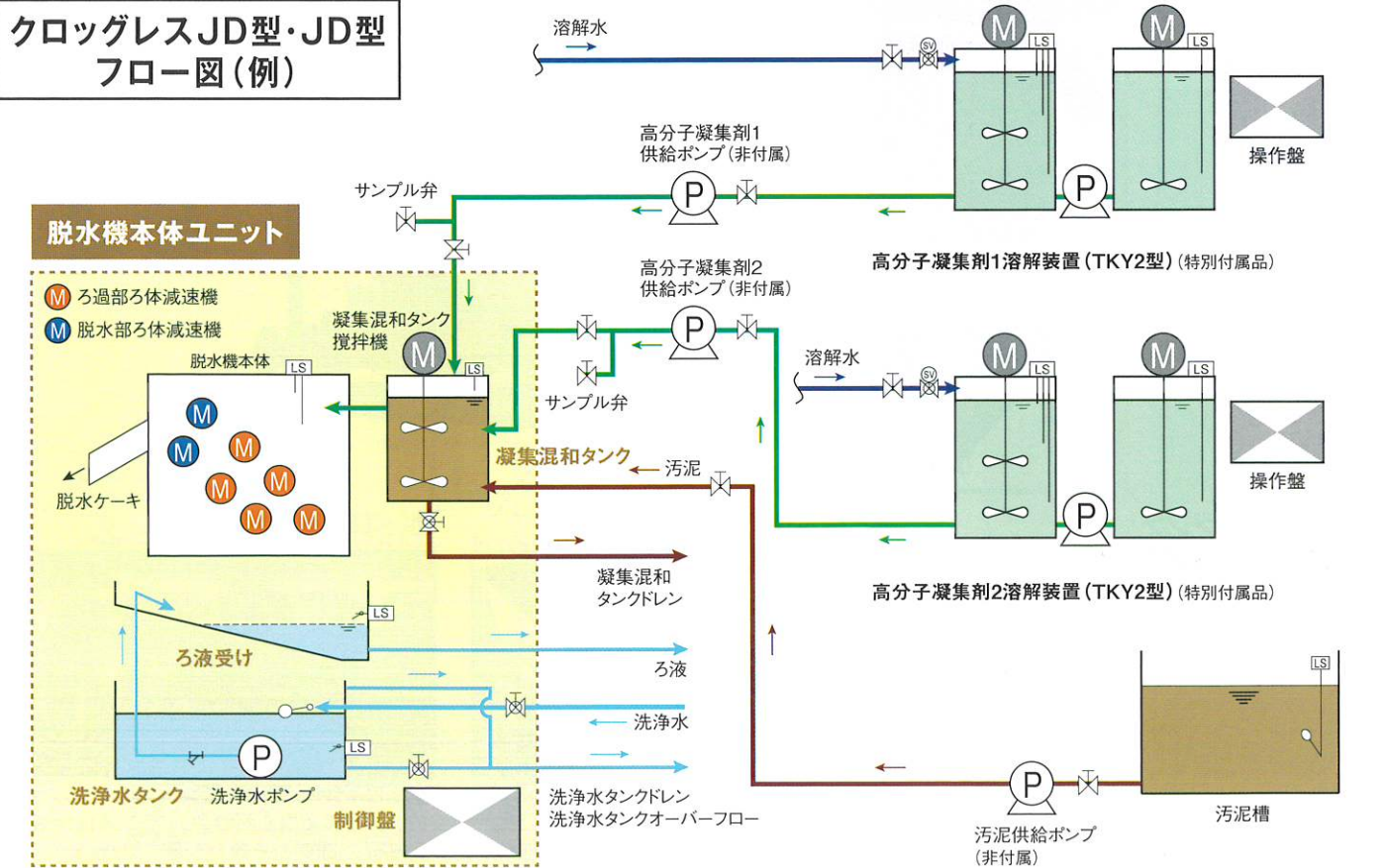
⑤ 脱水ケーキ排出

脱水ケーキとして機外に排出されます。

⑥ ろ液受け洗浄

「ろ体」はセルフクリーニング機構によって常にクリーニングされるため、洗浄水はろ液受けを洗浄するわずかな量で済みます。

## クログレスJD型・JD型 フロー図（例）



内が標準となり枠外は全て非付属です  
※ろ体減速機の数値は型式により異なります

●汚泥供給ポンプ、薬注設備、薬注ポンプ等は、非付属品です。  
●JD-1500、2000は脱水機本体と凝集混和タンク、洗浄水タンクが分離構造となります。